



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

11月号 NOV 2018

<http://www.maruto-shoji.co.jp>

北海道産玉葱状況について

10月に入り関東地方では曇天が続きあまり秋晴れが見られない天候が続きました。後半は気候が安定して、10月らしい天気が多くみられる日が続きました。気温は過去の平均に比べて高めに推移しました。野菜の生育には良かったように思います。9月から10月にかけて多発した台風の影響により、報道でも野菜高騰が年末まで続くと言われていますが、10月に種まきをされた品目はほぼ順調に推移していると思われます。早期の回復が見られるように期待したいと思います。

北海道産玉葱については、先月でもお伝えをしておりましたが、悪い方の予想が当たってしまったようです。全道的にサイズは小玉傾向で間違いのないようです。また軟腐病も各地区で散見されており、商品化率も下がっているとのことでした。最大産地の北見地区においても当初反当たり5.9tの収穫量とされていましたが、まだまだ状況は不確定で今後の品位次第で商品化率が下がることが考えられます。結果として当初予定よりホクレン様出荷としては2万5,000t程の下方修正となりそうです。加工契約においては12月以降の一般契約玉葱の供給が大きく減少する可能性が出ています。現時点ではどの程度の数量対応となるかは不明ですが、申し込み数量満額の回答はほぼ不可能とみられています。要因としては6月中旬以降の低温・多雨。そして7月中旬以降の高温・干ばつです。年々気象状況が作物にとって良くない方向に動いているのを実感します。

今期北海道産玉葱につきましては、情報を精査しつつ、輸入品を含めてより品位の良い玉葱をお客様にご案内をしていく予定です。とりわけ4月以降については北海道産大きく減少するものと思われます。早め早めの情報提供を実施して参ります。

アメリカ産玉葱状況について



北海道産玉葱の作柄が下方修正となる中、弊社担当の渋谷が10月23日から1週間の予定でアメリカの玉葱産地を視察訪問して参りました。今季輸出向けアメリカ産玉葱の生育状況は非常に順調であったとのこと。収穫作業も順調に進んでいる状態です。サイズも大玉の傾向で、日本向けにはレジェンドという品種が中心となり、要望サイズの商品が潤沢にありそうです。乾燥状態も申し分なく、品位としては良好な状態を確認しています。

弊社においては、北海道産の豊作、不作に限らず、冬期のリスクヘッジ産地と位置づけてアメリカ産玉葱についても毎年取り組みを行っております。今冬は北海道産が不足の様相を呈してきました。長年の取り組みを活かして、弊社お客様に喜んでいただける商品を数量・品質ともに供給できるものと考えております。

デメリットとしては、予定オーダー制である点です。アメリカ産については産地から到着、使用可能となるまで約1か月かかります。そのため事前による期間契約となります。

輸入品ということお客様にて使用制限等もあるかと思えます。今期アメリカ産玉葱品質は終盤まで良好であると考えます。また、府県産出回り時期となる4月後半までは品薄が続く予測です。期間契約という形とはなるかと思えますが、使用可能であれば一度アメリカ産玉葱の品位等も見て頂けると幸いです。御社商品製造ラインにて効率・歩留まり向上に貢献できるものと思えます。

“食”の分野で役立つマーケティング情報

個人的にファッションにはそれほど関心は高くなくお金をつかうタイプではありません。どちらかというとも服を買いに行くことは「めんどくさい」と思うことが多いです。その理由の一番が「試着をゆっくりとできない」ということ。それほど高価でもない服を買うために、試着をゆっくりと何着もするというのはなかなかできませんよね。ですから、「試着だけできて、気に入ったら後でネットで購入する」というような店があればいいなとずっと思っていました。

最近になって、試着した衣料品をインターネット経由で購入できるという動きが広がっています。アマゾンには有料の「プライム会員」向けに無料試着の提供を始めました。服や靴など気になる商品を自宅で試して、気に入った商品だけを購入するというものです。対象の商品は衣料品や靴、バッグ、腕時計、ジュエリーまで返品送料も無料だそうです。これは利用してみたいです。

また、スタイラーという会社が期間限定ですが“試着だけの店”を都内ではじめました。この店には20ほどのブランドの衣服が並べられ、来店客は実際に手に取り試着して、もし気に入った商品があればサイトで購入して、商品は各ブランドの倉庫から自宅に無料で配送されます。スタイラーの社長は「新たな実店舗のあり方を提案していきたい」と今後の展開を話していました。「試着だけ自由にできる」というのであれば、お店へ気を使う必要もなく、リラックスして楽しみながら服を選ぶことができそうだなと想像できます。さらにアマゾンのようにネットと違い、届くまでに待つ必要もなく、いくつも試すことができるのでより便利かもしれません。

最近読んだ本で『小売再生 —リアル店舗はメディアになる』（ダグ・スティーブンス著）はとても興味深かったです。著者は、日本以上にアマゾンの影響が大きく、リアルな店舗の閉店が相次いでいるアメリカ人です。しかし、そのアメリカでも小売全体におけるアマゾンの売上は1割に満たないそうです。本当の問題は小売業界が店舗の強みを生かしきれていない現状であり、店舗はそのためにAIやVRなどのテクノロジーを使いながら、消費者に「ワクワク」「わたしだけ」「期待以上」を提供できる場にならなければならないと述べています。

消費者はもうお店にもものを探しにきたり（さがすのはネットが圧倒的に便利）するのではなく、ネットには体験できない、“場としてのお店”だからこそできる何かを体験したいと思っているのかもしれない。ここには、これからのリアルな店舗を持つ小売業が再生するヒントがあるかもしれません。

次回もこの問題を考えていきたいと思えます。



木下康司 きのしたこうじ

1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。

デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組んでいる。

<http://www.kino-company.com>

11月 玉葱商品産地情報

産地		状況
国産黄玉葱	北海道	軟腐病、抱き玉が一部みられる 大勢はまざるの品位
輸入黄玉葱	USA	11月よりスタート 品位・サイズ良好
中国剥き玉葱	甘肅省	入荷品質は良好 韓国買い付けなく相場安定
国産赤玉葱	北海道	小玉 加工面では苦戦中 品位は安定
輸入赤玉葱	USA	11月よりスタート 品位・サイズ良好



中まで色見の濃い紫玉葱の新品種を北海道の生産者様からご紹介頂きました。本当に中まで色が濃いです。サラダ用途のお客様にぜひ見て頂ければ！サンプルありますのでお気軽にお問い合わせください！

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315